

IGRいわて銀河鉄道の鉄道土木 国登録有形文化財・登録記念シンポジウム

～日本鉄道からIGRいわて銀河鉄道へ 受け継がれた鉄道土木～

開催日：2026年11月28日(土)

会場：国登録有形文化財萬代館

岩手県二戸郡一戸町一戸本町49

参加料：無料

定員：120名(申込不要・先着順)

開場11:30 (一戸駅-萬代館間でシャトルバス運行[会場に駐車場はございません])

シャトルバス発車時刻[往路]①11:30 ②11:50 ③12:20 ④12:40 ⑤13:00[復路]終了後随時

同時開催：いちのへの蒸気展、懐かしの駅弁販売、日本の鉄道文化財紹介

●プログラム●

11:30 開場

13:00 オープニングアクト 郷土芸能披露 根反鹿踊り

13:30 開会

【第一部】

講演「石川啄木も見た鉄道の風景」藤原安生氏(公益財団法人盛岡市文化振興事業団石川啄木記念館館長
盛岡市玉山歴史民俗資料館館長)

発表「日本鉄道奥州線第五区線の土木工事を支えた煉瓦物語」南館範和氏(IGRの鉄道遺産を継承活用する会代表)

【第二部】

基調講演①「IGRいわて銀河鉄道登録有形文化財11件の評価」北河大次郎氏(文化庁建造物課主任文化財調査官)

基調講演②「日本鉄道に見る日本の鉄道土木史」小野田滋氏(公益財団法人鉄道総合技術研究所アドバイザー)

17:00 閉会

●講演者プロフィール●

小野田 滋 氏

公益財団法人鉄道総合技術研究所アドバイザー
1957年愛知県生まれ。1979年日本国有鉄道入社。
分割民営化後は鉄道総合技術研究所、西日本旅客鉄道(出向)、海外鉄道技術協力協会(出向)などに勤務。
NHK「プラタモリ」にも出演。著書に、『東京鉄道遺産』『関西鉄道遺産』(講談社ブルーバックス)など。工学博士、土木学会フェロー。



北河 大次郎 氏

文化庁建造物課主任文化財調査官
1969年静岡県生まれ。東京大学土木工学科卒、エコール・ナショナル・デ・ボンゼジョッセ博士課程修了。フランス国博士(国土整備・都市計画)。帰国後文化庁に入庁し、パリ大学客員講師、東京大学客員教授、文化財保存修復研究国際センター(イタリア)プロジェクトマネージャーなどを経て現職。著書に『近代都市パリの誕生』(サントリー学芸賞)、『図説近代日本土木史』(共著)など。



藤原 安生 氏

公益財団法人盛岡市文化振興事業団石川啄木記念館館長・盛岡市玉山歴史民俗資料館館長
岩手県内各地の小学校教諭、校長、岩手県立生涯学習推進センター所長などを経て、2024年に石川啄木記念館館長就任。2025年から現職。



南館 範和 氏

一戸町移住コーディネーター、IGRの鉄道遺産を継承活用する会代表
1961年川崎市生まれ。現在は親族が経営していた造り酒屋があった一戸町で暮らし、鉄道煉瓦をはじめ地域の歴史を研究している。



●交流会● 会場：一戸町コミュニティセンター(萬代館及び一戸駅と会場間の送迎バスあり) 参加費：お一人様5,000円
《要予約・申込締切/11月20日》参加申し込み：IGRいわて銀河鉄道(株)企画部 電話：019-601-9992(平日9:00～16:30)

主催：IGRいわて銀河鉄道株式会社 共催：一戸町
協力：岩手県教育委員会、二戸市、岩手町、奥中山高原株式会社
後援：盛岡市、第三セクター鉄道等協議会、東北鉄道協会
IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ